【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公開番号】特開2006-181048(P2006-181048A)
【公開日】平成18年7月13日(2006.7.13)
【年通号数】公開・登録公報2006-027
【出願番号】特願2004-376798(P2004-376798)
【国際特許分類】
Ｄ０５Ｂ　55/16　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０５Ｂ　55/16

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月19日(2007.11.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
図３、図４に示すように、レバー軸４１の下側において、ヘッド２にはカム軸６３が回動可能に支持されている。カム軸６３上には、レバー軸４１上のギヤ４６に噛み合うギヤ６４が固定され、ステッピングモータ４８によりカム軸６３がレバー軸４１と反対の方向へ回動される。また、カム軸６３上には、各駆動レバー４３，４４，４５と対応する位置に退避カム６５，６６，６７が固定され、レバー４３，４４，４５に退避カム６５，６６，６７と係合可能な突片４３ａ，４４ａ，４５ａが下向きに突設されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
同時に、復帰ピン７０はステッピングモータ４８の動力を駆動レバー４３と昇降部材２３を介して針棒１４に作用させ、針棒１４を下降側へ強く付勢する。これにより、針棒１４のつかえが解消され、その針棒１４が強制的に下降されるとともに、後ローラ５３がカム溝５ａに強制的に戻される。従って、環縫いミシン１の再起動時に、針棒カム５と針棒駆動レバー４３との衝突を回避し、後ローラ５３等の駆動系部品の破損を確実に防止することができる。